

- [ご案内](#)
- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 腫瘍外科・西8階病棟 忘年会を行いました

腫瘍外科・西8階病棟 忘年会を行いました

投稿日：2019年12月28日（土）

2019年12月26日にホテルパークにて腫瘍外科・西8階病棟の忘年会を行いました。

今年度も西8階病棟、外科外来、薬剤部、先進医療推進センターの日頃からお世話になっている多くのメディカルスタッフの方々が参加してくださいました。総勢68名の盛大な忘年会となりました。

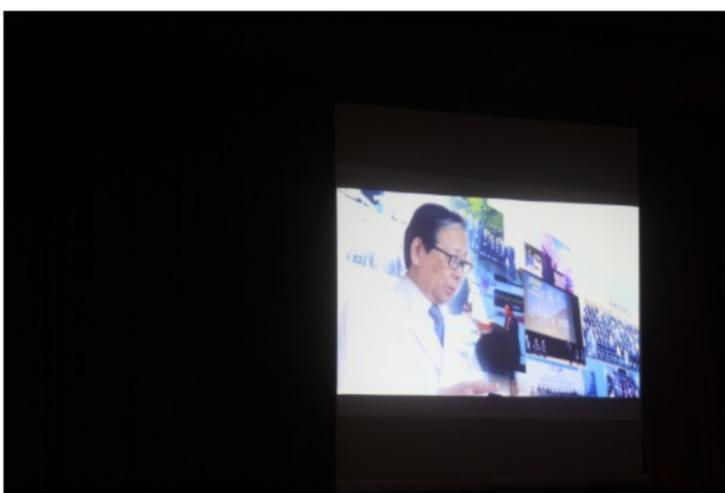
本年は第1外科と第2外科が統合し、外科学として新たに出発した記念すべき年でした。さらに、なんといっても吉田和弘教授が第57回日本癌治療学会学術集会の会長を務められ、10月に福岡にて学術集会を当科が主催した年でした。多くの方々の御協力を賜り、吉田教授の、そして当科の全員の長年の夢がかなった大きな大きな1年でした。



吉田和弘教授からは、本年も最善の医療を提供できましたことに、そして日本癌治療学会学術集会を無事に開催できたことに、参加者一同への感謝と労いの言葉をいただきました。来年はますますの最善の医療を提供できるよう、医局員、メディカルスタッフ一同、心をひとつにしました。



二村学准教授より、挨拶と乾杯の音頭を頂きました。



会の途中で、癌治療学会学術集会を振り返る動画の上映がありました。皆、懐かしく、そして誇らしく振り返りました。

また、今回も新人看護師さん、新しく病棟勤務に就かれた腫瘍外科の医局員や研修医の先生をはじめ、総勢4組のパフォーマンスが行われ、大盛り上がりでした。

最後に食道チーム 田中善宏先生、胃チーム 山口和也先生・奥村直樹先生、乳腺チーム 二村学先生・森 龍太郎先生、肝胆膵チーム 村瀬勝俊先生・今井 寿先生、小児外科チーム 加藤充純先生、大腸チーム 高橋孝夫先生・松橋延壽先生、そして西8病棟玉井師長から1年間の総括を頂きました。



最後は、山口和也先生の5本締めで本年の忘年会を閉じました。



ご参加くださいました、病棟、外科外来、薬剤部、治験管理部門のメディカルスタッフの皆様、本年も本当にお疲れさまでした。2020年もよろしくお願いいたします！



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第233回 岐阜外科集談会を開催しました

第233回 岐阜外科集談会を開催しました

投稿日：2019年12月23日 (月)



2019年12月21日に岐阜大学医学部 大会議室にて第233回岐阜外科集談会を開催しました。

一般演題11題の発表と、特別講演は弘前大学大学院医学系研究科 消化器外科学講座・小児外科学講座教授の禰田健一先生をお招きして開催しました。

一般演題の座長を、当科の田中秀治先生が行いました。



一般演題 座長 田中秀治先生

岐阜大学消化器外科からは前回に引き続き、研修医の中島拓哉先生が一般演題を発表しました。見事に前回と2回連続の**若手奨励賞**を受賞しました。



一般演題 演者 中島拓哉先生
演題名：『FOLFIRINOX療法により病理学的完全奏功が得られた局所進行切除不能肺癌の1例』



充分な準備がなされ、堂々としたプレゼンテーションでした。今後のますますの活躍を期待いたします。

特別講演は、当科の吉田和弘教授が座長をされ、「肺癌治療のパラダイムシフトと近未来～血栓塞栓症の薬物療法を含めて～」のテーマで弘前大学大学院医学系研究科 消化器外科学講座・小児外科学講座教授の禰田健一先生に御講演いただきました。



特別講演 座長 吉田和弘教授



弘前大学大学院医学系研究科 消化器外科学講座・小児外科学講座教授
禰田 健一 先生
「肺癌治療のパラダイムシフトと近未来～血栓塞栓症の薬物療法を含めて～」

肺癌治療の歴史について、年代ごとの手術や化学療法の進化・考え方の変遷など、大変わかりやすく解説いただきました。また御自身の医局の肺癌治療の成績を示され、切除不能肺癌の治療成績をさらに向上するために取り組まれている基礎研究や臨床研究についてもお話されました。大変わかりやすく、一同おおいに勉強させていただきました。

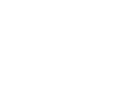


日本の肺癌治療のリーダーのひとりである禰田先生から貴重な意見を頂こうと、会場からは講演内容にとどまらず、日常臨床の疑問点についても多くの質問がありました。

謝辞
禰田健一先生には、たいへん御多忙のなか岐阜の地で御講演していただき、誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。

ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 令和元年 岐阜大学第二外科 同門会を開催しました

令和元年 岐阜大学第二外科 同門会を開催しました

投稿日：2019年12月23日 (月)

令和元年12月14日に都ホテルにて同門会を開催しました。

同門会 総会

ご挨拶



岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授

遠親祝の贈呈



日下部光彦先生（大雄会病院）、須原貴志先生（下呂市立金山病院）、川口暎敬先生（朝日大学病院）、北村文近先生（恵那病院）

第57回日本癌治療学会学術集会の開催報告



岐阜大学腫瘍外科 松橋 延壽 准教授

本年10月に吉田和弘教授の会長のもと福岡にて開催しました第57回日本癌治療学会学術集会につきまして、事務局局長を務めました松橋延壽 准教授より報告いたしました。

学位取得者 研究発表



前田健一先生（岐阜県総合医療センター）



田尻下敏弘先生（松浪総合病院）

関連施設の病院紹介



多治見市民病院 加藤浩樹先生

吉田和弘教授 講演

「1年を振り返って -日本癌治療学会を主催して-」



今年1年を振り返って、できたこと、できなかったこと、外科統合について、新専門医制度について、第57回日本癌治療学会学術集会の開催報告、第2020年以降の目標について講演いただきました。2020年のKey word「ascension」を披露いただきました。若手一同、Next stageへの飛躍を胸に誓いました。

同門会 懇親会

開会のご挨拶



同門会長 堀部 廉 先生

特任教授就任祝い

本年10月より、がん先端医療会開発学講座の特任教授に高橋孝夫先生が就任されました。



がん先端医療会開発学講座 高橋孝夫 特任教授



吉田和弘教授よりお祝いの言葉を頂きました。



長年、高橋孝夫先生とともに二人三脚で診療を行ってこられた松橋延壽 准教授が本会の進行を務めました。松橋延壽 准教授には、高橋孝夫先生のこれまでの歩みを紹介するプレゼンテーションをして頂きました。

叙勲受章祝い

長年、岐阜の医療、そして岐阜大学第二外科の発展にご尽力いただきました同門会長の堀部 廉先生が、本年春に旭日双光章を受章されました。



堀部 廉 先生（同門会会長・堀部クリニック）

お祝いの御挨拶

佐治重豊 名誉教授より、お祝いのお言葉をいただきました。

乾杯の御挨拶

堀 厚 先生

今年度より第1外科と第2外科が統合し、高度先進外科（第1外科）の先生方がご参加くださいました。

閉会の御挨拶

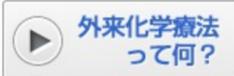
東 修次 先生

本年8月には「令和岐阜外科の会」を開催しました。我々は新たな岐阜の外科体制をすずめつつ、多くの諸先生方の努力で成り立ってきました本同門会をこれまで通り大切にしていきます。

▲ページの先頭へ戻る

📍 **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

📅 **教室日記**

トップページ > 教室日記 > San Antonio Breast Cancer Symposium 2019に参加しました

San Antonio Breast Cancer Symposium 2019に参加しました

投稿日：2019年12月20日（金）

アメリカ、テキサス州、サンアントニオで毎年開催される、San Antonio Breast Cancer Symposiumへ二村 学先生とともに参加させていただきました。

合計16時間ほどの空旅を経て、会場へ到着しました。



1日目はEducational Sessionでしたが、長旅の疲れもあり、1時間ほど二村先生の案内でサンアントニオを見て回りました。

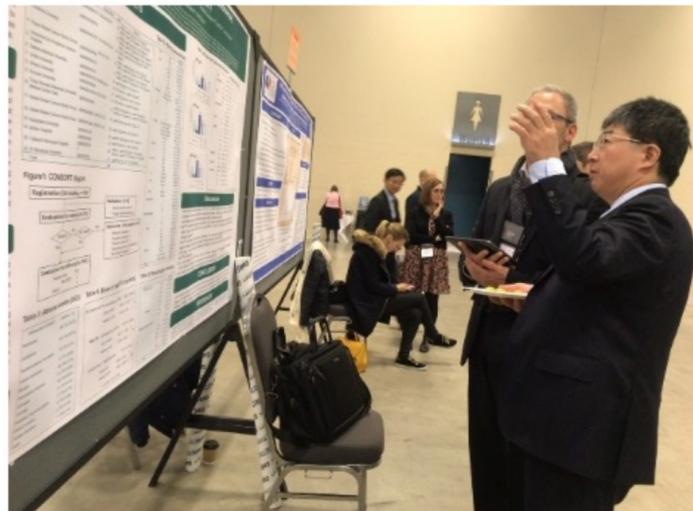
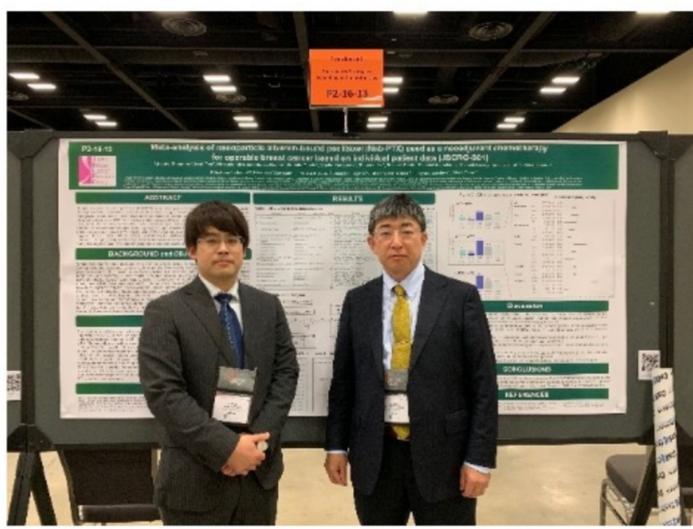
ホテルのすぐそばに「アラモの砦」という建築がありました。ここはもともとスペインの布教所として1718年に建設されたもののようで、19世紀初頭にスペイン軍の騎兵隊が駐屯し、この要塞を「アラモ」と呼び、ここでテキサス独立戦争中の1836年にメキシコ共和国軍とテキサス分離独立派(テクシャン反乱軍)の間で「アラモの戦い (Battle of Alamo)」があったそうです。今ではサンアントニオを代表する観光地として夜はライトアップもされていました。



その夜、ロズウェルパーク癌研究所の高部先生のラボに留学中の徳丸先生と、その同僚の先生と夕食をともにしました。

2日目のGeneral Sessionでは最新の知見が次々と発表され、非常に面白かったです。やはり免疫療法が未だtopicである一方で、抗HER2療法の新薬や新たなレジメンなどが発表されました。また参加人数は7000人超、世界各国から乳癌診療に携わる医療者が集まり、非常に広い会場が人でいっぱいになっているのを見て圧倒されました。

3日目の朝、Poster Session2で二村先生が発表されました。



朝7時から掲示開始で、ポスター会場は8時頃にはたくさんの人でいっぱいになりました。私は会場で配られているコーヒーを飲みながら、ポスターを見てまわりました。自分は術後の補助療法のコーナーに行き、放射線治療の最適な時期や高齢者に対する化学療法は是非など学びました。やはり術後放射線療法は30から60日以内、化学療法はできるのであれば行った方がよいという結果でした。

SABCS2019を通じ、自分の世界大きく変わりました。岐阜にとどまらず、世界に出るということを体験でき、実際に発表している先生方を拝見し、自分もいつかそこへ行きたいと強く感じました。

最後になりましたが、このような世界学会への参加という貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。吉田和弘教授をはじめ、腫瘍外科同門の先生方に心から感謝を申し上げます。

文責：中神 光、二村 学

◎ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第7回FACO学術集会に参加しました

第7回FACO学術集会に参加しました

投稿日：2019年12月9日(月)

この度、12月6日に中国上海で開催されました第7回FACO学術集会(Federation of Asian Clinical Oncology)に参加させて頂きました。

ACOは、2012年より中国のCSCO、韓国のKSMO、そして本邦の日本癌治療学会JSCOの3か国・3学会が連携し、アジアで臨床研究を推進することを目的として設立されました。FACO学術集会は、これまではCSCO、KSMO、JSCOが持ち回りで、ホスト国の学術集会と併催されてきました。本年の学術集会からは初めてFACO単体での開催となりました。

記念すべき本学術集会に、当教室より二村学先生、浅野好美先生、坂野慎哉の3名が参加しました。二村先生はInvited Speakerとして「Precision medicine for breast cancer in Japan」の演題名でBreast Cancer Sessionでの講演をしました。浅野先生と坂野は日本癌治療学会のトラベル・グラントを取得し、ポスター発表を致しました。



二村 学 Invited Speaker

Breast Cancer Session 「Precision medicine for breast cancer in Japan」

浅野好美

Poster session 「Nuclear localization LDL receptor-related protein 1B predicts in mammary gland carcinogenesis」

坂野慎哉

Poster session 「Antitumor effect and clinical application of combination therapy with zoledronic acid and cetuximab for colorectal cancer」

今回はCSCO(Chinese Society of Clinical Oncology)との共催で、終日FACOのシンポジウムが開催され、日本からも著名な先生方が講演され、韓国・中国からの演題も含めセッションは大いに盛り上がり、とても勉強になり良い経験でした。

夜は今回のFACOのPresidentでもあるJin Li先生主催のディナーへも招待頂き、高名な先生方と交流ができて大変刺激になりました。



空いた時間では会場周りを散策したり、夜には上海の観光名所でもある夜景を見たりと、中国の発展のスピードに驚くとともにとても楽しい時間を過ごすことができました。

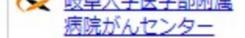
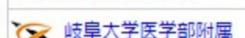


このような機会を与えて頂きました吉田和弘教授をはじめ、腫瘍外科同門の先生方に感謝致します。

文責：坂野慎哉、浅野好美、二村 学

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 松井 聡先生の送別会を行いました

松井 聡先生の送別会を行いました

投稿日：2019年11月30日（土）

2019年11月29日に松井 聡先生の送別会を行いました。



松井先生は2014年より6年間、肝胆膵外科のスタッフとして活躍されました。患者さんからの信頼に厚く、完璧な術前準備や緻密な術後管理など、若手一同、大変多くのことを学ばせていただきました。



吉田和弘教授より送別の言葉を頂きました。



肝胆膵チームの今井 寿先生より、皆からの寄せ書きを贈呈されました。



西8階病棟、手術部、外科外来の多くのメディカルスタッフの方々に参加してくださいました。



長い間、大変お疲れさまでした。松井先生のますますのご活躍を祈念しております。

◎ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**

2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年

- ▶ オプアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会


同門会発行
辛夷


胃がんとは
 MOVIE


外来化学療法
 って何？


術後GISTの
化学療法


ASCO2013
 ~Late Breaking Abstracts~


ASCO2015
 ~special session :
 Global Oncology Symposium~

-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 第7回次世代内視鏡外科Labセミナーを開催しました

第7回次世代内視鏡外科Labセミナーを開催しました

投稿日：2019年11月11日（月）



第7回
次世代岐阜内視鏡外科Labセミナー

日 時：2019年11月9日(土) 10:00~17:00
場 所：ジョンソン・エンド・ジョンソン・インスティテュート
 東京サイエンスセンター
(神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25番19)
宿泊地：タイロイネットホテル川崎 1泊朝食付き ¥10,800-
希望者には上記ホテルをご利用しております
※川崎駅までの交通費、前日の宿泊費は各自負担となります
内 容：アミラルボトレーニング
※詳細は参加者に別途ご連絡致します
募集人数：約25名（先着順となります）
申込方法：下記までメール、または弊社営業担当に直接お伝えください。
【メールアドレス】 stoga@its.jnj.com（営業担当 柳）
※宿泊をご希望の場合は、申し込み時に併せてご連絡ください
申込〆切：10/11（金）

【コース責任者】
 吉田 和弘 先生
【コースコーディネーター】
 今井 寿 先生

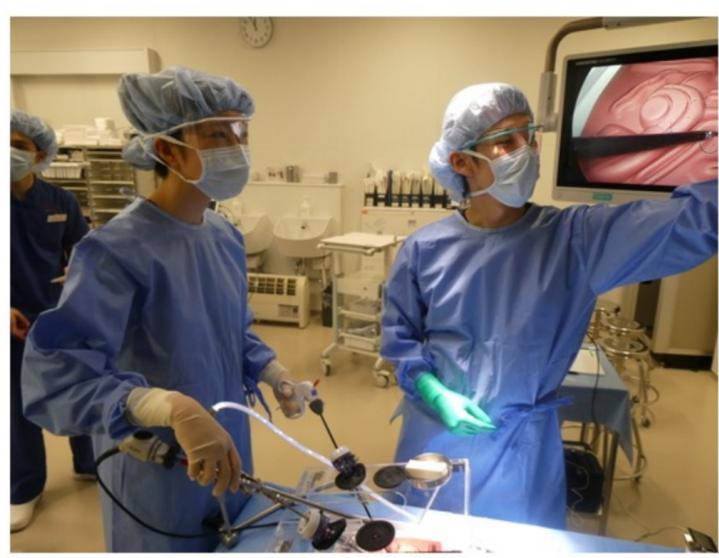

ETHICON

2019年11月9日（土）に第7回次世代内視鏡外科Labセミナーを開催しました。

コース責任者： 岐阜大学腫瘍外科 吉田 和弘 教授
 コースコーディネーター： 岐阜大学腫瘍外科 今井 寿 先生

今年は計27名の先生方にご参加いただくことができました。今年の特徴は、初めてご施設が3施設、研修医が15名と非常にフレッシュなセミナーとなりました。

朝から夕方までの限られた時間であり、トレーニングプログラムとブタの解剖説明を学んだあと、10時45分より実習を開始しました。午前中は大腸手術のトレーニングを中心に手術機器の使用になれることを重点に行い、午後は腹腔鏡下幽門側胃切除術にチャレンジしました。多くの研修医の先生が腹腔鏡手術の術者は初めての経験でしたが、午前と比べ、午後の手術は見違えるよう上達しており、ほとんどすべてのグループで胃のリンパ節郭清と胃の切離を完遂することができました。すべての参加者が目を輝かせ、実習に取り組むことができたのも、各施設からご参加いただいた熱血指導医のおかげであり、心より感謝申し上げます。



引き続き、来年以降も継続予定であり、若手外科医や外科を目指す研修医の有意義な鍛錬の場となることと思います。



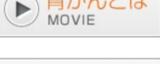
文責：今井 寿



◎ ご案内
▶ トップページ
▶ 教授挨拶
▶ 教室紹介
▶ 診療内容
▶ 外来担当表
▶ セカンドオピニオン
▶ 研究課題
▶ 臨床試験
▶ 業績
▶ 研修・入局案内
▶ 関連病院紹介
▶ スタッフ紹介
▶ 教室日記
▶ 2022年
▶ 2021年
▶ 2020年
▶ 2019年
▶ 2018年
▶ 2017年
▶ 2016年
▶ 2015年
▶ 2014年
▶ 2013年
▶ 2012年
▶ 2011年
▶ 2010年
▶ 2009年
▶ 2008年
▶ 2007年
▶ オプトアウト対象の臨床研究
▶ 寄付講座
▶ 同門会



同門会発行
辛夷



胃がんとは
MOVIE



外来化学療法
って何？



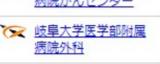
術後GISTの
化学療法



ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~



ASCO2015
~special session :
Global Oncology Symposium~



岐阜大学医学部



岐阜大学医学部附属
腫瘍科



岐阜大学医学部附属
腫瘍がんセンター



岐阜大学医学部附属
腫瘍外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第57回日本癌治療学会学術集会 市民公開講座（岐阜）を開催しました

第57回日本癌治療学会学術集会 市民公開講座（岐阜）を開催しました

投稿日：2019年11月4日（月）



第57回日本癌治療学会学術集会 市民公開講座（岐阜）社会と医療のニーズに応える-岐阜の未来のがん治療-を開催しました。

開催日：2019年11月2日（土曜）
場所：長良川国際会議場

本年10月24-26日に福岡にて、第57回日本癌治療学会学術集会を当科の吉田和弘教授の会長のもとで主催し、盛況のうちに終了しました。今回は福岡に引き続き、地元である岐阜にて市民公開講座を開催しました。当日は397名の多くの県民の方々にご参加くださいました。



開会のあいさつ



木沢記念病院 佐治重豊 名誉教授

岐阜大学腫瘍外科（旧第2外科）の名誉教授である佐治重豊先生から開会のあいさつをいただきました。

基調講演



「がん」って何だろう？- 早期発見ができれば治る病気？ -
岐阜大学大学院 腫瘍外科・医学部付属病院長 吉田和弘 教授

第57回日本癌治療学会学術集会の会長を務めた吉田和弘教授が、がんとは何か、検診の重要性、岐阜大学病院で行っている最新の癌治療などについて講演いたしました。

講演



「がん」と遺伝子、そしてゲノム医療へ
岐阜大学大学院 腫瘍外科 二村 学 臨床教授

がんとは何なのか？遺伝子とどんな関係があるのか？最近話題となっているゲノム医療について講演されました。



「消化管内視鏡による未来のがん治療」
岐阜大学 光学医療診療部 荒木寛司 臨床教授

岐阜大学病院で行われている癌の内視鏡治療、これからの最先端の内視鏡治療について講演されました。



「癌治療におけるロボット手術-身体に優しい、これからの最先端手術-」
岐阜大学 がん先進医療開発学講座 高橋孝夫 教授

岐阜大学病院で行っている最新医療のひとつ、ロボットを利用した手術について講演されました。



「がん治療のデジタル革新：VR/AI/精密医療/5G/遠隔オンライン医療」
帝京大学沖永総合研究所 Holoeyes株式会社 杉本真樹 先生

医療画像解析、仮想現実/拡張現実/複合現実、手術ナビゲーションシステムなど、医療技術開発の第一人者である杉本真樹先生から、医療現場・特にがん治療における最新デジタル技術の応用について、綺麗な映像を用いて講演いただきました。

「ガンになっても前を向いて」
タレント 矢方 美紀さん

元SKE48の矢方さんにご自身の体験をお話いただきました。

コンサート

半崎 美子さん

北海道出身のシンガーソングライターの半崎美子さんに歌をいただきました。NHKみんなのうた「お弁当はこのうた～あなたへのお手紙～」をはじめ、会場の皆の心に響き渡る素晴らしいコンサートでした。

開会のあいさつ



岐阜大学大学院 腫瘍外科学・医学部付属病院長 吉田和弘 教授



総司会 笠井ゆかりさん（FM岐阜アナウンサー）

福岡から始まりました当科主催の第57回日本癌治療学会学術集会は、福岡での市民公開講座、そして地元岐阜での市民公開講座を成功のうちに終え、幕を閉じました。我々が発信いたしました最新の癌治療、医療技術について、少しでも多くの皆様のもとに届いたならば幸いです。岐阜大学腫瘍外科は、これからもみなさまの社会と医療のニーズに応えられるように努力してまいります。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



同門会発行
辛夷



胃がんとは
MOVIE



外来化学療法
って何？



術後GISTの
化学療法



ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~



ASCO2015
~special session : Global Oncology Symposium~



岐阜大学医学部



岐阜大学医学部附属
病院



岐阜大学医学部附属
病院がんセンター



岐阜大学医学部附属
病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第18回岐阜臓腑外科研究会が開催されました

第18回岐阜臓腑外科研究会が開催されました

投稿日：2019年11月 1日 (金)

第18回 岐阜臓腑外科研究会

日時：令和元年 11月1(金) 19:00~21:00
場所：都ホテル岐阜長良川 2階「蓮 (あま) の間」
〒502-0871 岐阜県岐阜市長良町2695-2 TEL 058-295-3100

◇◇◇ プログラム ◇◇◇

一般演題・症例提示 (19:00~20:00)

座長 岐阜赤十字病院 外科 部長 林 昌俊 先生

「術前診断が困難であった転移性肺癌と原発性肺癌の衝突症例」
高山赤十字病院 神品 壮史 先生

「膵体部IPMN依存膵胆管合流異常症に対し
腹腔鏡下手術を行った一例」
大垣市民病院 外科 岡本 和浩 先生

「 Gemcitabine+nab-paclitaxel療法後に動脈合併切除
再建を伴う膵頭十二指腸切除を施行した肺癌症例」
岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 田中 秀治 先生

特別講演 (20:00~21:00)

座長 岐阜大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 教授
岐阜大学医学部附属病院 病院長 吉田 和弘 先生

「膵臓外科の小さな一歩」

演者 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・一般外科
教授 谷 眞至 先生

※お弁当をご用意しております
主催：大薬薬品工業株式会社
TAHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

2019年11月1日に都ホテル岐阜長良川にて、第18回岐阜臓腑外科研究会が開催されました。

一般演題は当科の田中秀治先生の発表を含む3演題で、特別公演には滋賀医科大学外科学講座消化器・乳腺・一般外科教授 谷 眞至先生をお招きしました。

田中先生の演題は、「Gemcitabine + nab-paclitaxel療法後に動脈合併切除再建を伴う膵頭十二指腸切除を施行した肺癌症例」でした。元々、高度の動脈浸潤により切除不能と診断された膵臓癌を、術前化学療法と動脈合併切除で根治切除した症例を紹介し、膵臓癌におけるConversion Surgeryの現状を発表致しました。まさに当科が目指す集学的治療が膵臓癌でも実現できることを示した発表であり、会場からも多くのご質問を頂きました。



一般演題 演者

「Gemcitabine + nab-paclitaxel療法後に動脈合併切除再建を伴う
膵頭十二指腸切除を施行した肺癌症例」
岐阜大学腫瘍外科 田中秀治先生

特別講演は、吉田和弘教授が座長をされ、「膵臓外科の小さな一歩」の題名で谷 眞至教授に御講演いただきました。谷教授は世界の膵臓癌治療をリードする和歌山県立医科大学外科学第2講座 山上裕機教授のもとで御研鑽を積まれた先生です。高難易度手術である膵頭十二指腸切除術の再建や合併症の予防に関する多くのエビデンスを生み出した当時の臨床研究を解説頂きました。また、現在の滋賀医大でも日常診療に直結する素朴な疑問から、膵臓癌の集学的治療に至るまでのきめ細かな真実を追求する臨床研究のあり方を御講演頂きました。岐阜と滋賀は隣県であり、地域柄はよく似ておりますが、我々も岐阜の地でひとつひとつ丁寧な仕事を重ね、滋賀医大に負けられないような成果を生みだせるよう精進しようと皆が感じた一日でした。



特別講演 座長

岐阜大学腫瘍外科・医学部附属病院院長 吉田和弘 教授



特別講演 演者

滋賀医科大学外科学講座消化器・乳腺・一般外科 谷 眞至 教授

謝辞

谷 眞至先生には、たいへん御多忙のなか岐阜の地で御講演していただき、誠にありがとうございました。医局員一同、心より感謝申し上げます。

文責：今井 寿

- 案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会

トップページ > 教室日記 > 第57回日本癌治療学会学術集会を開催しました

第57回日本癌治療学会学術集会を開催しました

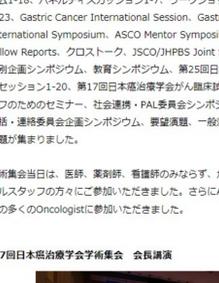
投稿日：2019年10月28日 (月)



日程：2019年10月24-26日
場所：福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡

第57回日本癌治療学会学術集会を当科の吉田和弘教授を会長として開催いたしました。当科では第3回(1999年)成成尋常女学校(現岐阜大学)外科治療学名譽教授が会長として主催して以来、実に20年ぶりの開催となりました。本学術集会は九州博多にて開催しました。

開会の挨拶



第57回日本癌治療学会学術集会 会長
岐阜大学腫瘍外科・医学部付属病院院長 吉田和弘 教授

本学術集会のテーマは「社会と医療のニーズに応える」といたしました。人工知能(AI)をはじめとするテクノロジーの進化や、ゲノム医療・分子標的薬・免疫療法など新薬医療の進歩、そして高齢化や変わりゆく社会のニーズ、それら全てに我々は応える必要があります。本学術集会では、我が国の癌治療をもう一度振り返り、さらに何れに発展させる絶好の機会と位置づけました。

皆様からの貴重な臨床診療・研究成果をご応募いただき、本学術集会では特別講演1・2、ASCO/ESMO Perspective、ASCO/JSCO Joint Symposium、ASCO/ESMO/JSCO/JSMO/JCA Joint Symposium、AOS/FACO/JSCO Joint Symposium 1-2、FACO/JSCO Joint Symposium、教育講演、会長企畫シンポジウム11-18、ハルニデスカッション1-7、ワークショップ1-14、腫瘍学シンポジウム1-23、Gastric Cancer International Session、Gastrointestinal Cancer International Symposium、ASCO Mentor Symposium、ASCO/ESMO/JSCO Fellow Reports、クロストーク、JSCO/JHPBS Joint Symposium、臨床研究委員会特別企畫シンポジウム、教育シンポジウム、第25回日本癌治療学会教育セミナー、教育セッション1-20、第17回日本癌治療学会がん臨床試験協力・参加メディアカルスタッフのためのセミナー、社会連携・PAL委員会シンポジウム、がん診療ガイドライン統括・連携委員会企畫シンポジウム、要旨議題、一般議題の計2453題と大変多くの議題が集まりました。

学術集会当日は、医師、薬剤師、看護師のみならず、がん医療に携わる多くのメディアカルスタッフの方々にご参加いただきました。さらにASCO、ESMOそしてアジアからの多くのOncologistに参加いただきました。

第57回日本癌治療学会学術集会 会長講演



「胃癌と私の研究-A challenge to conquer Gastric Cancer-」
岐阜大学腫瘍外科・医学部付属病院院長 吉田和弘 教授

吉田和弘会長のこれまでの医師人生、外科医として取り組んできた癌治療・癌研究について講演されました。広島から、岐阜から、日本から世界へ研究成果を発信して来られました。2000年代に開発した胃癌化学療法レジメンが、臨床試験を経て新たに進行胃癌のガイドラインに搭載されるまでに至った経緯には、努力・苦労・多くの患者さんをお救いしたいという思いが詰まっております。社会と医療のニーズに応え続けてきた吉田教授の思いは会場の皆様にも届いていました。

本学術集会のテーマ

- AIを中心とした先端医療と産学連携による将来構想
- Precision Medicineの検証：ゲノム医療、分子標的薬、免疫療法など新規医療とそれらの融合から生み出される新たな医療
- グローバル時代の癌治療：JSCO・JSMO・JCA 3学会の連携、国際シンポジウムとしてASCO・ESMO・ESMO・ESMO・ESMOとのジョイントシンポジウム、アジアにおける新たな学会AOS (Asian Oncology Society) の設立、アジアガイドライン作成推進、FACOを中心とした臨床試験の推進
- 進化を遂げるがん治療と再生医療
- 希少癌とAYA世代：ネットワーク樹立を始めとする治療体制の確立とサイバーシップの検討
- 今後の臨床試験の在り方：「臨床試験法案」に基づく臨床試験と今後の要綱
- 働き方改革に基づく女性医師・メディカルスタッフの癌医療への関わり、就労支援に代表される癌患者のサイバーシップの問題

本学術集会では、日本国内のJSCO・JSMO・JCAの3学会の連携のみならず、国際学会であるASCO・ESMO・ESMO・ESMO・ESMOとの連携、そして、長年の夢であったアジアにおける新たな学会AOS (Asian Oncology Society) の設立を行いました。

AOS記念式典



がんの予防・治療・研究・模範という同じ志をもつアジアの国々による、アジアで初めての心と心の学会AOS (Asian Oncology Society) が設立されました。

AOS Business Meeting



AOSの今後のあり方、運営方法、次回、次々回のAOSの開催などについて話し合われました。2020年の第1回AOSはイリピンにて開催予定です。

ASCO/JSCO joint symposium -Precision Medicine-



会長企畫シンポジウム1



がん治療におけるAIの進歩と将来

日本癌治療学会 理事長講演



慶応義塾大学前院長 北川謙光 教授

理事長の北川謙光先生が、日本癌治療学会の現状と将来展望について講演されました。

クロストーク



患者さんに向けた「検査度の高い」癌薬
青山学院大学 榎岡伸一先生

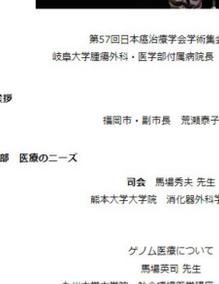
特別講演や教育講演や会長企畫シンポジウムでは、AIを中心とした先端医療や Precision Medicine、がん治療と再生医療など、日本のトップリーダーのみならず、世界のリーダーの先生方から、最新の話題について講演していただきました。一般議題では、様々な癌種の方々、日本の癌治療現場での成果を報告しました。また、希少癌とAYA世代癌、女性医師やメディアカルスタッフの癌医療への関わり方、癌患者のサイバーシップなど、多岐にわたる講演されました。3日間にわたり、様々なメディアカルスタッフや患者さんとの交流をすることができました。次世代の癌治療につながる積極的な議論が展開され、大変有意義な時間となりました。



市民公開講座 福岡

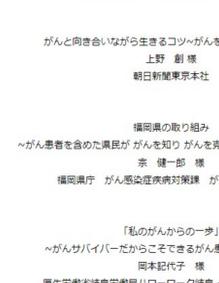
-社会と医療のニーズに応える-人生100年代を迎えて-

2019年10月26日 (土曜) サンパレス福岡にて



日本癌治療学会から市民の皆様へ癌治療の最新情報をお届けする市民公開講座を福岡で行いました。当日は多くの福岡市民の皆様にご参加いただきました。

開会のあいさつ



第57回日本癌治療学会学術集会 会長
岐阜大学腫瘍外科・医学部付属病院院長 吉田和弘 教授

ご挨拶

福岡市・副市長 荒瀬泰子 様

第1部 医療のニーズ

司会 馬場秀夫 先生
熊本大学大学院 消化器外科 教授

ゲノム医療について
馬場英司 先生
九州大学大学院 社会環境医学講座 連携社会分野

ロボット支援手術の現在と将来
沖 英次 先生
九州大学大学院 消化器・総合外科

大腸がんとAI
舘元大介 先生
九州大学大学院 放射線科

第2部 社会のニーズ

司会 小西敏郎 先生
東京医療保健大学医療保健学部 医療栄養学科

がんと向き合いながら生きるコソコソがんを経験した記者から
上野 創 様
朝日新聞東京本社

福岡県の取り組み
福岡県 がん検診推進課 がん・疾病対策課

～がん患者を含めた県民ががんを知り がん克服することを目指して～
奈良 健一郎 様
福岡県庁 がん感染症疾病対策課 がん・疾病対策係

「私のがんからの一歩」
～がんサイバードからこそできるがん患者への就労支援～
岡本紀子 様
厚生労働省岐阜労働局ハローワーク岐阜・職業相談第二部門
就業支援ナビゲーター (長期療養者支援担当)

スター養成合戦同窓会

山田邦子さん、倍賞千恵子さん、コシノジュンコさんを中心としたスター養成合戦同窓会

著名な方々から元氣と勇気をいただいた。大変すてきな会場コンサートでした

次回2020年の第58回日本癌治療学会学術集会は日本医科大学大学院 吉岡昭彦先生の会長のもと京都にて開催されます。

本学術集会は、岐阜大学腫瘍外科の医師員と患者の皆さんの企画・運営により、盛況のうちに終了しました。多くの腫瘍外科専門の先生方の御支援・御協力により、無事終了することができたことを感謝申し上げます。

文責 事務局長 松林延壽
ホームページ 今井健晴



▼ ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)

▶ [教室日記](#)

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)

▶ [寄付講座](#)

▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [第57回日本癌治療学会学術集会の告知記事がメディカルノートに公開されました](#)

第57回日本癌治療学会学術集会の告知記事がメディカルノートに公開されました

投稿日：2019年10月21日（月）

この度、開催間近となりました第57回日本癌治療学会学術集会の告知記事が、メディカルノートに公開されました。

会長の吉田和弘教授が取材されております。

下記のリンクから、ぜひご覧ください。

[第57回日本癌治療学会学術集会 in 福岡 – 社会と医療のニーズに応える](#)

ニュース

第57回日本癌治療学会学術集会 in 福岡 – 社会と医療のニーズに応える



岐阜大学医学部附属病院・病院長/岐阜大学大学院主要制御学講座腫瘍外科学分野 教授
吉田 和弘 先生

[▲ページの先頭へ戻る](#)

▼ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 10月24日(木曜)~26日(土曜)に 第57回日本癌治療学会学術集会を開催いたします

10月24日(木曜)~26日(土曜)に 第57回日本癌治療学会学術集会を開催いたします

投稿日：2019年10月16日(水)



このたび、第57回日本癌治療学会学術集会を開催いたします。

<http://congress.jSCO.or.jp/jsco2019/>

本学術集会は岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授が会長を務め、当科が主幹をさせていただきます。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

▲ページの先頭へ戻る



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)



▼ ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [スタッフ紹介を更新しました](#)

スタッフ紹介を更新しました

投稿日：2019年10月 1日 (火)

2019年10月1日より2名の医師が当科に赴任しました。

奥村直樹 講師（岐阜市民病院外科より）

桐山俊弥 医員（高山赤十字病院外科より）

[スタッフ紹介更新](#)

[▲ページの先頭へ戻る](#)



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

▶ オプアウト対象の臨床研究

▶ 寄付講座

▶ 同門会



同門会発行
辛夷

▶ **胃がんとは**
MOVIE

▶ **外来化学療法**
って何？

▶ **術後GISTの**
化学療法

▶ **ASCO2013**
~Late Breaking Abstracts~

▶ **ASCO2015**
~special session :
Global Oncology Symposium~

▶ **岐阜大学医学部**

▶ **岐阜大学医学部附属**
病院

▶ **岐阜大学医学部附属**
病院がんセンター

▶ **岐阜大学医学部附属**
病院外科

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 棚橋利行先生、スチンさんの送別会を行いました

棚橋利行先生、スチンさんの送別会を行いました

投稿日：2019年9月30日（月）

2019年9月26日に棚橋利行先生、スチンさんの送別会を行いました。



棚橋先生は2009年より10年間、大学病院に勤務されました。その間にPhDや内視鏡技術認定医も取得され、胃外科の一員として大変活躍されました。10月からは岐阜市民病院に赴任されます。



スチンさんは岐阜に来られ、大学院生として6年間研究に励まれました。見事に学位も取得されました。

吉田和弘教授よりお二人への送別の言葉を頂きました。

当日は高度先進外科学講座の先生方も参加してくださいました。また、西5階病棟、西8階病棟、手術部、薬剤部、外科外来より多くのメディカルスタッフの方々が参加していただきました。

お二人とも、長い間お疲れさまでした。お二人のご健康と、ますますのご活躍を、祈念しております。

▲ページの先頭へ戻る

- ご案内
- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記
 - 2022年
 - 2021年
 - 2020年
 - 2019年
 - 2017年
 - 2016年
 - 2015年
 - 2014年
 - 2013年
 - 2012年
 - 2011年
 - 2010年
 - 2009年
 - 2008年
 - 2007年
- オプアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会

同門会発行
辛夷

胃がんとは
MOVIE

外来化学療法
って何?

術後GISTの
化学療法

ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~

ASCO2015
~Special Session: Global Oncology Symposium~

- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属
病院
- 岐阜大学医学部附属
がんセンター
- 岐阜大学医学部附属
腫瘍外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 令和岐阜外科の会を開催しました

令和岐阜外科の会を開催しました

投稿日：2019年8月15日(木)

本年4月より岐阜大学高度先進外科(旧第一外科)と腫瘍外科(旧第二外科)が統合し、一つの外科学となりました。

統合後、外科学の中には心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科の5つの分野があり、大学病院では毎週月曜の早朝に外科学全員が集合し、手術患者のカンファレンスを行い、5つの分野が密に連携をとって診療を行っています。

岐阜の外科学の統合を折念し、本年8月8日に都ホテルにて令和岐阜外科の会を開催しました。



当日は旧第一外科、第二外科より101名の多くの先生方に御参加いただきました。

開会の挨拶



高度先進外科学分野
土井 潔 教授



腫瘍外科学分野・医学部付属病院長
吉田和弘 教授

司会



腫瘍外科学分野 医局長 山口和也 先生
高度先進外科学分野 医局長 鳥袋勝也 先生

御挨拶



林 勝知 先生 (高度先進外科同門会長)



堀部 廣 先生 (腫瘍外科同門会長)

乾杯の挨拶



呼吸器外科 岩田 尚 教授

外科の紹介



木山 茂 先生



心臓血管外科グループ
土井 潔 教授



呼吸器外科グループ
岩田 尚 教授



消化器外科グループ
吉田和弘 教授



消化器外科(食道チーム)
チーフ 田中善宏 先生



消化器外科(胃チーム)
チーフ 山口和也 先生



消化器外科(大腸チーム)
チーフ 高橋孝夫 先生



消化器外科(肝胆膵チーム)
チーフ 村瀬勝俊 先生



乳腺外科グループ
チーフ 二村 学 臨床教授



小児外科グループ
チーフ 加藤充純 先生

新入局員の紹介



高度先進外科学分野



腫瘍外科学分野

関連施設代表からの挨拶



松波総合病院 外科 関野考史 先生



岐阜県総合医療センター 外科 長尾成敏 先生

御挨拶

千葉徳洲会病院長 加納寛康 先生

松波総合病院 名誉院長 松波英一 先生

廣瀬 一 名誉教授 (高度先進外科学分野)

佐治 重豊 名誉教授 (腫瘍外科学分野)

岐阜大学外科は、医局員一同、密に連携をとりながら、今後も県民の皆さまの健康を守り、最高の医療をご提供できるよう努力いたします。

▲ページの先頭へ戻る

◎ **ご案内**

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

- ▶ オプアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

▼ 教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜鏡視下食道癌手術手技カンファレンスが開催されました

岐阜鏡視下食道癌手術手技カンファレンスが開催されました

投稿日：2019年7月22日（月）



2019年7月22日に都ホテルにて、浜松医科大学医学部外科学第二講座教授 竹内裕也先生をお招きし、岐阜鏡視下食道癌手術手技カンファレンスが開催されました。

岐阜大学大学院腫瘍制御学講座腫瘍外科学分野教授 吉田和弘先生が総司会をされ、ビデオクリニックと特別講演が行われました。



総司会
岐阜大学大学院腫瘍制御学講座腫瘍外科学分野 吉田和弘教授

ビデオクリニック

岐阜大学腫瘍外科の佐藤悠太先生と田中善宏先生が食道癌手術の胸腔操作のビデオをそれぞれ提示されました。



岐阜大学腫瘍外科 佐藤悠太先生



岐阜大学腫瘍外科 田中善宏先生

佐藤先生は岐阜県総合医療センターにて自身で執刀したビデオを、田中先生は岐阜大学で執刀した最近の症例のビデオを提示されました。それぞれ施設の手術手技の工夫があり、竹内教授からはさらなる改善点をアドバイスいただきました。

特別講演

浜松医科大学医学部外科学第二講座教授 竹内裕也先生に、『Minimally invasive esophagectomyと術後合併症を考える』のテーマで御講演をいただきました。



特別講演
浜松医科大学医学部外科学第二講座教授 竹内裕也先生

食道外科の歴史から、Minimally invasive esophagectomyのエビデンスと竹内先生ご自身の手術での実践についてお話しいただきました。後半の術後合併症については、周術期管理の中で気づいたひとつの疑問を追究することから、術後合併症との関連がみつき、さらには立派な論文となりうるとのお話でした。竹内先生が御指導された若手の先生から多数の論文が創出されている背景には、日頃からそういった疑問を解決しようと臨床を取り組む姿勢があることが良くわかりました。特に若手の医師には大変勉強になるお話で、『術後合併症学』について興味深く拝聴いたしました。

謝辞

竹内裕也先生には、平日の夜にも関わらず、大変御多忙のなか、岐阜の地で御講演していただき誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第232回 岐阜外科集談会を開催しました

第232回 岐阜外科集談会を開催しました

投稿日：2019年6月29日 (土)



2019年6月29日に岐阜大学医学部記念会館にて第232回岐阜外科集談会を開催しました。
今回は、一般演題12題の発表と、当科の松橋延壽先生によるショートレクチャー、そして特別講演は帝京大学沖永総合研究所特任教授の杉本真樹先生をお招きして行いました。

一般演題の座長を、当科の岩田至紀先生と佐藤悠太先生が行いました。



一般演題 座長 岩田至紀先生



一般演題 座長 佐藤悠太先生

当科からは研修医の中島拓哉先生が発表し、見事に**若手奨励賞**を受賞しました。



一般演題 演者 中島拓哉先生
演題名：『直腸癌術後の吻合部完全狭窄に対して口側・肛門側からの rendezvous内視鏡下拡張術が有効であった一例』



今後のますますの活躍を期待いたします。

ショートレクチャーは「癌治療に伴う疼痛supportive care」のテーマで、当科の松橋延壽 特任准教授にレクチャーしていただきました。基礎から最新の話まで、日常臨床に沿った内容で、明日から実践できる大変わかりやすいお話でした。



ショートレクチャー 松橋延壽先生
「癌治療に伴う疼痛supportive care」

特別講演は、吉田和弘教授が座長をされ、「消化管・肝胆膵手術の最新VR画像診断とXR手術支援」のテーマで帝京大学沖永総合研究所特任教授の杉本真樹先生に御講演いただきました。



特別講演 座長 吉田和弘教授



特別講演 帝京大学沖永総合研究所特任教授 杉本真樹先生
「消化管・肝胆膵手術の最新VR画像診断とXR手術支援」

消化管・肝胆膵外科領域における3D画像構築法を具体的に紹介していただきました。さらにVR仮想現実、AR拡張現実、MR複合現実など、最新の技術の応用を紹介していただきました。杉本真樹先生はプレゼンテーション術でも御高名な先生で、会場の誰もが一度は学会や研究会などで拝聴したことがあります。VR仮想現実の医療現場への応用について、会場の皆、大変興味深く、熱心に聞き入っていました。

謝辞
杉本真樹先生には、たいへん御多忙のなか岐阜の地で御講演していただき、誠にありがとうございました。医局員一同、心より感謝申し上げます。

◎ ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記

2022年
2021年
2020年
2019年
2018年
2017年
2016年
2015年
2014年
2013年
2012年
2011年
2010年
2009年
2008年
2007年

- ▶ オプアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属 産院
- 岐阜大学医学部附属 産院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属 産院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 13th International Gastric Cancer Congress (IGCC2019)に参加しました

13th International Gastric Cancer Congress (IGCC2019)に参加しました

投稿日：2019年5月12日 (日)



第13回 国際胃癌会議が、2019年5月8日～11日にチェコ共和国のプラハで開催されました。当科からは吉田和弘教授、棚橋利行先生、今井健晴先生、安福 至先生が参加しました。



International Gastric Cancer Congress 国際胃癌会議は1995年に設立された国際胃癌協会(IGCA)が、胃癌の予防・診断および治療に関する研究の進歩を促し、全世界の胃癌の根絶を促進することを目的として2年に1回開催されております。第13回となる今年はドイツUniversity of LeipzigのFlorian Lordick教授の会長のもとで、チェコ共和国プラハで開催されました。

吉田和弘教授がInvited Speakerとしてランチョンセミナーで講演されました。



Lunch Symposium
CONVERSION Surgery and NEOADJUVANT Chemotherapy for GC
— How Much Have We Achieved?—
Kazuhiro Yoshida

また、Invited Speakerとして”Multimodal treatment concepts in Stage IV disease”のセッションで講演されました。



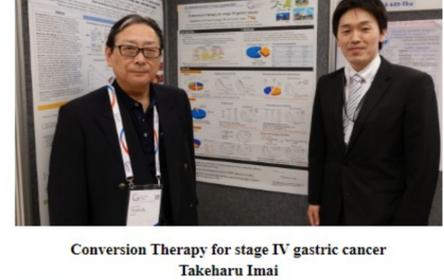
Scientific Session23
”Multimodal treatment concepts in Stage IV disease”
Liver metastasis: is there a role for surgery?
Kazuhiro Yoshida

ヨーロッパでは胃癌は診断時に切除不能進行癌の割合が日本より高く、conversion therapyへの注目度の高さが伝わってきました。会場も満席でした。講演後に吉田教授のもとに各国の先生方が質問に来られている様子が大変印象的でした。

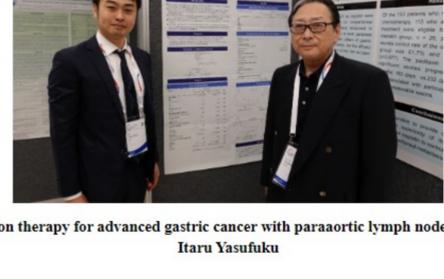
棚橋利行先生、今井健晴先生、安福 至先生がPoster Sessionで発表しました。



The Overlap Method of Esophagojejunostomy in Total Gastrectomy is Safe and Useful
Toshiyuki Tanahashi



Conversion Therapy for stage IV gastric cancer
Takeharu Imai



Conversion therapy for advanced gastric cancer with paraaortic lymph node metastasis
Itaru Yasufuku

今回の学会では、欧州からは化学療法FLOTを軸とした治療戦略が、北米からは放射線療法を活用した治療戦略が、日本からは吉田教授が代表をされましたJACRRO-GC07のAdjuvant-DS療法の話をはじめ、手術+Adjuvant化学療法の治療戦略が注目を集めておりました。

会期中、世界各国の胃癌診療のトップランナーの先生方と交流させていただきました。



次回のIGCC2021年 MD Anderson Cancer Centerの主幹のもとHoustonで開催されます。

プラハはチェコ共和国の首都であり、中央ヨーロッパ有数の世界都市とされ、中世の街並みを現在に残す世界一美しい町の一つといわれています。3日間天候に恵まれ、プラハのシンボルであるプラハ城の旧王宮や教会や修道院、モルダウ川にかかるカレル橋、旧市街広場の600年以上動いている天文時計など、まるでおとぎの国にいるような大変美しい景観を視察することができました。



今回、国際学会への参加のという大変貴重な機会を頂き、誠にありがとうございます。吉田和弘教授をはじめ、腫瘍外科同門の先生方から感謝を申し上げます。

文責：安福 至、今井健晴

▼ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > Gifu IBD Symposiumが開催されました

Gifu IBD Symposiumが開催されました

投稿日：2019年4月23日（火）

2019年4月23日 Gifu IBD Symposiumが開催されました。

IBDにおける内科医と外科医の診療科連携と題して、札幌東徳洲会病院 先端外科センター長の河野透先生をお招きし、クローン病治療の最先端の外科治療に関する特別講演を拝聴しました。

基調講演では当教室高橋孝夫先生がIBDに対する外科治療とColitic Cancerに対する腹腔鏡手術と題して講演を行いました。



これまで再発、再狭窄との戦いのであったクローン病の狭窄病変に対する外科治療の中で、河野先生が開発されたクローン病病変部切除後Kono-S吻合法は短期成績、長期成績ともに非常に良好であるとの御講演を拝聴しました。



▲ページの先頭へ戻る

◎ [ご案内](#)

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



-  [岐阜大学医学部](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
-  [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 吉田和弘教授・棚橋利行先生・安福至先生が韓国胃癌学会2019(KINGCA:Korea International Gastric Cancer week 2019)に参加しました

吉田和弘教授・棚橋利行先生・安福至先生が韓国胃癌学会2019(KINGCA:Korea International Gastric Cancer week 2019)に参加しました

投稿日：2019年4月13日 (土)

吉田和弘教授、棚橋利行先生、安福至先生が2019年4月11日～13日韓国インチョンで開催された韓国胃癌学会2019に参加しました。

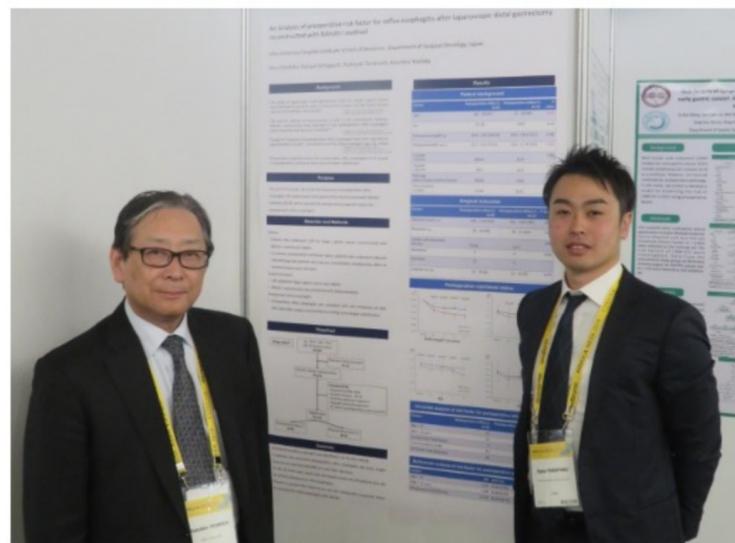
吉田和弘教授はinvited speakerとしてConversion therapyのレクチャーを行いました。



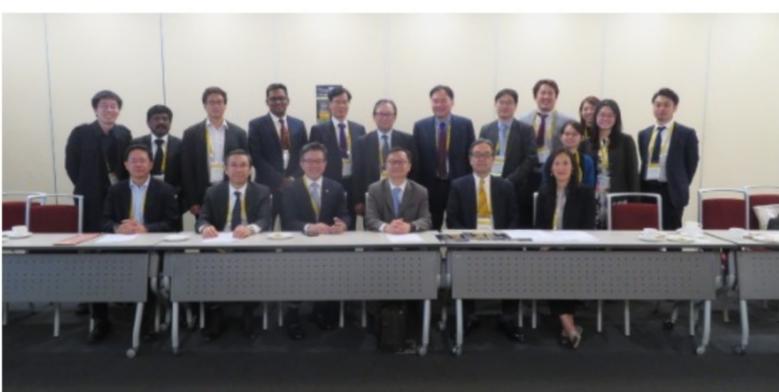
また、Symposium: Neoadjuvant treatment for gastric cancerの座長も務められました。



棚橋先生、安福先生もPoster exhibitionを行いました。



また、National University of SingaporeのProf. Jimmy B.Y. SoがPIを務めるEXPED studyのInvestigator meetingに出席しました。



Seoul National UniversityのProf. Han-Kwang YANGやProf. Do Joong Parkなど、海外の上部消化管領域のトップランナーとも交流し、親睦を深めました。





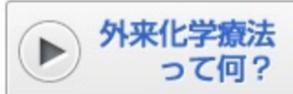
ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)

教室日記

- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)

- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- ▶ [岐阜大学医学部](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- ▶ [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

教室日記

トップページ > 教室日記 > 吉田和弘病院長が韓国ソウル大学を訪問し、岐阜大学医学部との学部間協定を締結しました

吉田和弘病院長が韓国ソウル大学を訪問し、岐阜大学医学部との学部間協定を締結しました

投稿日：2019年4月11日（木）

2019年4月11日 吉田和弘病院長が韓国ソウル大学医学部を訪問し、岐阜大学医学部との国際交流協定（MOU:Memorandum of Understanding）を締結しました。

Seoul National University College of MedicineのDean のProf. Shin, Chan Sooと会談し、今後交換留学生の受け入れや臨床・研究事業の相互協力の約束を交わしました。



吉田和弘病院長とProf. Shin, Chan Soo(左)、Prof. Hyeong-Gon Moon(右)

[▲ページの先頭へ戻る](#)



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)

教室日記

- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年

- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > 「スタッフ紹介」を更新しました

「スタッフ紹介」を更新しました

投稿日：2019年4月 8日（月）

4月より新メンバーを迎え「スタッフ紹介」を更新しました。

下記より、是非ご覧ください。

[スタッフ紹介](#)

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ 岐阜大学医学部
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > Gifu Colorectal Cancer Seminar が開催されました

Gifu Colorectal Cancer Seminar が開催されました

投稿日：2019年4月 5日（金）



平成31年4月5日に名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学講師 上原圭介先生をお招きし、Gifu Colorectal Cancer Seminarが都ホテルにて開催されました。

岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘教授が座長をされ、基調講演・ディスカッションの2部構成で会の進行をしていただきました。

【基調講演】



基調講演 座長
岐阜大学医学部附属病院 病院長
腫瘍外科 吉田和弘教授

まず基調講演として名古屋大学の上原圭介先生から「私の骨盤外科手術」というテーマでご講演をしていただきました。



基調講演 演者
名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学講師 上原圭介先生

上原圭介先生は大腸外科領域ではエキスパートとして知られており、モノポラーを使用した出血のない繊細な手術は多くの消化器外科医のあこがれとなっています。

今回は上原先生が大腸外科を志した理由から、側方郭清、そして先生の代名詞ともなっておられる骨盤内臓全摘術に至るまで非常に内容の濃い講演をしていただきました。側方郭清については開腹、腹腔鏡それぞれのアプローチにとどまらず、狭骨盤・肥満症例を克服すべく考案されたReverse Lateral Lymph Node Dissectionの手技を供覧していただきました。講演の最後には先生が外科医師として大切にされている信念をお話していただき、参加した多くの若手外科医は大きな感銘を受けました。

【Discussin】

後半は大腸癌における手術、そして化学療法についてそれぞれ高橋孝夫先生・松橋延壽先生司会の下、施設代表者の先生たちで活発な討論をしていただきました。

手術についての討論の中で多くの質問がでしたが、上原先生にはそれらひとつ一つについて丁寧に回答していただきました。化学療法については2次治療以降での血管新生阻害薬の使い分けについての討論がなされました。実際の症例を通じて2次治療、そしてlate lineにおける治療選択に対して活発な議論が行われ、松橋先生から前治療の内容、遠隔転移の局在、そして医療費に至るまで幅広い視点から血管新生阻害薬の選択についてのlectureをしていただきました。



謝辞

上原 圭介先生には、平日の夜にも関わらず、御多忙のなか岐阜の地で御講演していただき誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。

文責：深田真宏、松橋延壽

◆ **ご案内**

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

◆ **教室日記**

トップページ > 教室日記 > 平成30年度 腫瘍外科・西8階病棟 送別会を行いました

平成30年度 腫瘍外科・西8階病棟 送別会を行いました

投稿日：2019年3月27日 (水)

日時 平成31年3月27日
場所 馬喰一代 神田店

平成30年度の腫瘍外科・西8階病棟の送別会を行いました。

医師3名：後藤亜也奈先生（松浪総合病院へ）、北澤 舞先生（岐北厚生病院へ）、近石和可菜先生（岐阜県総合医療センター）

看護師5名：澤田さん・吉川さん（他病棟へ）、奥村さん・高橋さん（退職予定）

以上の皆さんが送別されました。

吉田和弘教授より、開会のご挨拶と乾杯の御発声をしていただきました。送別される医師と看護師への贈る言葉をいただきました。

そして、玉井師長より送別される看護師一人一人をご紹介いただきました。

送別者の皆さんから一言ずつご挨拶をいただき、花束が贈呈されました。



後藤亜也奈先生



北澤 舞先生



近石和可菜先生



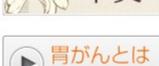
少し早いですが、みんなで吉田和弘教授の御誕生日をお祝いしました。



送別者の皆さん、大学病院・西8階病棟でのご勤務をお疲れさまでした。4月からそれぞれの新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記**
 - 2022年
 - 2021年
 - 2020年
 - 2019年
 - 2018年
 - 2017年
 - 2016年
 - 2015年
 - 2014年
 - 2013年
 - 2012年
 - 2011年
 - 2010年
 - 2009年
 - 2008年
 - 2007年
- アウトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜大学病院-青島大学煙台病院 連携協定記念講演会が開催されました

岐阜大学病院-青島大学煙台病院 連携協定記念講演会が開催されました

投稿日：2019年3月9日(土)

2019年3月7-8日に岐阜大学病院との施設間協定病院である中国・青島大学附属煙台病院より病院長 楊 軍先生や胃腸外科教授 李 剛先生をはじめ6名の先生方が当院を訪問されました。



3月7日に連携協定記念講演会が開催されました。3月8日には岐阜大学病院の施設見学をされました。



岐阜大学医学部附属病院と中国・青島大学附属煙台病院との連携協定記念講演会では、開催に先立ち、岐阜大学病院長 吉田和弘教授より、青島大学煙台病院との関係構築の経緯を説明いただきました。



岐阜大学医学部附属病院 病院長 吉田和弘先生



吉田和弘教授は青島大学煙台病院の客員教授でもあり、2018年に同病院と当院との施設間協定が結ばれました。吉田和弘教授と李 剛教授は20年来の親友であり、長きにわたる国際交流がこのような形で病院間の連携につながりました。



講演会の司会は、当科の二村 学准教授が務められました。

連携記念講演として、岐阜大学医学部附属病院からは光学診療部臨床教授 荒木寛司先生と高度先進外科学教授 土井 潔先生のお二方に御講演いただきました。



岐阜大学病院での内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)
 岐阜大学病院光学診療部 臨床教授 荒木寛司先生



日本ならびに岐阜大学における心臓血管外科の現状
 岐阜大学医学部高度先進外科学分野 教授 土井 潔先生

青島大学煙台病院からは胃腸外科教授の李 剛先生と病院長の楊 軍先生に御講演いただきました。



中国胃がん臨床研究の現状と展望
 青島大学附属煙台病院胃腸外科 教授 李 剛先生



青島大学附属煙台病院の現状と展望
 青島大学附属煙台病院 病院長 楊 軍先生

青島大学附属煙台病院は3000床を有する大きな病院で、中国全土の私立病院の中で4番目の規模とされています。最新の機器を導入し、臨床試験も積極的に推進し、中国国民の皆さんに最高の医療を提供できるように日々努力されておりました。



平日の夜にも関わらず、病院各部門より大変多くの方々にご参加くださいました。



青島大学附属煙台病院 病院長 楊 軍先生

青島大学附属煙台病院は3000床を有する大きな病院で、中国全土の私立病院の中で4番目の規模とされています。最新の機器を導入し、臨床試験も積極的に推進し、中国国民の皆さんに最高の医療を提供できるように日々努力されておりました。



平日の夜にも関わらず、病院各部門より大変多くの方々にご参加くださいました。



煙台病院の皆さん、質問も交えながら大変熱心に見学されておりました。

今後も病院間の関係を大切にし、岐阜県はもちろん、国際的にも貢献できる岐阜大学腫瘍外科でありたいと考えております。



ご案内

トップページ

教授挨拶

教室紹介

診療内容

外来担当表

セカンドオピニオン

研究課題

臨床試験

業績

研修・入局案内

関連病院紹介

スタッフ紹介

教室日記

2022年

2021年

2020年

2019年

2018年

2017年

2016年

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

2010年

2009年

2008年

2007年

オプトアウト対象の臨床研究

寄付講座

同門会



同門会発行
辛夷

胃がんとは
MOVIE

外来化学療法
って何？

術後GISTの
化学療法

ASCO2013
~Late Breaking Abstracts~

ASCO2015
~special session :
Global Oncology Symposium~



岐阜大学医学部



岐阜大学医学部附属
病院



岐阜大学医学部附属
病院がんセンター



岐阜大学医学部附属
病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > タイ王国・チェンマイ大学より2名の医学生さんが臨床実習をされました

タイ王国・チェンマイ大学より2名の医学生さんが臨床実習をされました

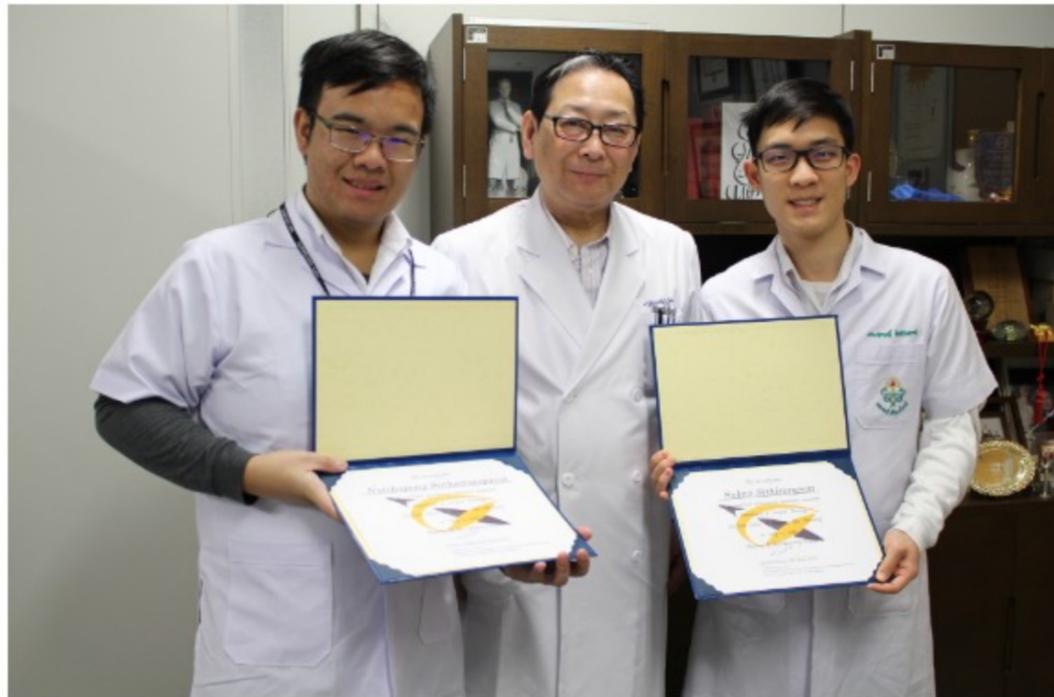
投稿日：2019年3月 1日（金）

2019年2月18日～3月1日の2週間、タイ王国のチェンマイ大学医学部4年生の Natthapong Suthammopasutさんと Sukrit Sithirungsonさんが、当科にて臨床実習に来られました。

手術見学や縫合実習、腹腔鏡ラポ実習などに取り組みられました。

臨床実習中の岐阜大学医学部4年生、5年生とともに実習され、お互いに大変よい刺激になっていました。

手術では、ロボット手術（胃・大腸）、食道癌、肝門部胆管癌、小児外科、乳腺手術など多くの手術見学をされました。



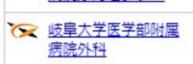
当科にて実習していただき、ありがとうございました。
今後も岐阜大学とチェンマイ大学との懸け橋となっていだけるよう、医局員一同願っております。

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ 教室日記
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



教室日記

トップページ > 教室日記 > 第11回 岐阜DIF研究会が開催されました

第11回 岐阜DIF研究会が開催されました

投稿日：2019年2月22日 (金)

第11回 岐阜DIF研究会
(DIF: DFD Ishitory Ryousyushin)

日時：平成31年2月22日(金) 18:40~20:50
場所：岐阜都ホテル2F「ボールルーム」
岐阜市長島路1995-2 TEL 058-295-3100

【開会の辞】 18:40~18:50
岐阜大学大学院医学系研究科 高度先進外科 教授 土井 潔 先生

Special Lecture I 18:50~19:50
座長： 岐阜大学大学院医学系研究科 消化器病態学 教授 清水 雅仁 先生
『 膵臓癌治療の最前線 』
神奈川県立がんセンター 消化器内科 医長 上野 誠 先生

Special Lecture II 19:50~20:50
座長： 岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科 教授 吉田 和弘 先生
『 外科学のパラダイムシフト 』
九州大学大学院 医学研究院 消化器・総合外科 教授 森 正樹 先生

尚、研究発表も、懇親会も行われます。
主催：大岐薬品工業株式会社

平成31年2月22日に神奈川県がんセンター消化器内科医長 上野 誠先生と、九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科教授 森 正樹先生をお招きし、第11回岐阜DIF研究会が開催されました。

開会の辞を、岐阜大学高度先進外科 土井 潔教授にいただきました。

Special Lecture Iでは、神奈川県がんセンター 消化器内科 医長 上野 誠先生に『膵臓癌治療の最前線』のテーマで講演いただきました。



Special Lecture I 座長
岐阜大学消化器病態学 清水雅仁教授



Special Lecture I
神奈川県がんセンター 消化器内科医長 上野 誠先生

膵臓癌の診療試験、ガイドラインの功罪、化学療法の実際、局所進行膵臓の治療戦略、支持療法などについてお話いただきました。また、最近のTopicsである免疫療法に関しても、MSI-High腺癌の診断と治療についても今後発展していくであろうと、大変よくわかりました。

Special Lecture IIでは、九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科教授 森 正樹先生に『外科学のパラダイムシフト』のテーマで御講演いただきました。



Special Lecture II 座長
岐阜大学病院長・岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘教授



Special Lecture II
九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科教授 森 正樹先生

18世紀からの外科学の進歩、現在の外科学の進歩、現在の外科研究の進歩、これからの外科学についてお話いただきました。外科学の歴史から、腹腔鏡手術、ロボット手術、そして今後のAIを活用した外科医療、またiPSによる再生医療など大変よくわかりました。特に、癌幹細胞をターゲットとした癌研究に関して、その同定から、シングルセル解析、miRによる癌幹細胞治療など、もっとお聞きしたい大変興味深い御講演でした。外科学のトップリーダーであられる森 政樹教授が取り組んでこられた臨床・研究のお話を拝聴でき、皆、大変感銘を受けました。



大変多くの医療スタッフに参加いただき、会場からは活発な質問がされました。日本をリードされる先生方の御講演を拝聴することができ、大変貴重な機会となりました。



謝辞
森 政樹教授、上野 誠先生には、御多忙のなか岐阜の地で御講演していただき誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 第1回 外科合同学生セミナーを開催しました

第1回 外科合同学生セミナーを開催しました

投稿日：2019年2月19日（火）



本年4月より、高度先進外科（第一外科）と腫瘍外科（第二外科）（はひとつに統合し、新たに『外科』として出発します。そこで今回は、医学部5年生を対象として、第1回 外科合同学生セミナーを開催しました。外科に興味のある12名の5年生が参加してくださいました。



土井 潔教授から開会のご挨拶をいただきました。



講演①「これまでのこれからの外科人生」 高度先進外科 Mitsunobu先生 学生時代、研修医、心臓血管外科医への歩みを話していただきました。



講演②「なぜ、外科医なのか」 腫瘍外科 Maki先生 同じく学生時代、研修医、消化器外科医を選んだ理由や今後の展望について話していただきました。



特別講演「外科専門医制度について」 腫瘍外科 Matsuoka先生 外科専門医制度、研修プログラムについて説明いただきました。



外科に興味をもち、選択実習で院内外の外科で臨床実習中の学生さんたちで、皆さんとても熱心に聞いておられました。



呼吸器外科 Iwata 尚教授より閉会のご挨拶をいただきました。

会議後、吉田和弘教授が来られ、出席の学生さんにお言葉をいただきました。

その後の交流会では、領域問わず、外科医と学生さんとの語らいの場をつくることができました。どの先生方も外科について大変熱く語られており、学生さんにその思いが伝わったのではないかと思います。ひとつの外科としての外科領域の魅力をこれからも発信していきます。学生のみならず、これからは1外科、2外科で迷う必要はありません！岐阜県の外科医として一緒に活躍しましょう！！



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ [教室日記](#)
- ▶ [2022年](#)
- ▶ [2021年](#)
- ▶ [2020年](#)
- ▶ [2019年](#)
- ▶ [2018年](#)
- ▶ [2017年](#)
- ▶ [2016年](#)
- ▶ [2015年](#)
- ▶ [2014年](#)
- ▶ [2013年](#)
- ▶ [2012年](#)
- ▶ [2011年](#)
- ▶ [2010年](#)
- ▶ [2009年](#)
- ▶ [2008年](#)
- ▶ [2007年](#)
- ▶ [オプアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > [教授業績 2018年 を公開しました](#)

教授業績 2018年 を公開しました

投稿日：2019年2月 7日 (木)

教授業績 2018年 を公開しました。

下記より、是非ご覧ください。

[教授業績 2018年](#)

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ [トップページ](#)
- ▶ [教授挨拶](#)
- ▶ [教室紹介](#)
- ▶ [診療内容](#)
- ▶ [外来担当表](#)
- ▶ [セカンドオピニオン](#)
- ▶ [研究課題](#)
- ▶ [臨床試験](#)
- ▶ [業績](#)
- ▶ [研修・入局案内](#)
- ▶ [関連病院紹介](#)
- ▶ [スタッフ紹介](#)
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ [オプトアウト対象の臨床研究](#)
- ▶ [寄付講座](#)
- ▶ [同門会](#)



- [岐阜大学医学部](#)
- [岐阜大学医学部附属病院](#)
- [岐阜大学医学部附属病院がんセンター](#)
- [岐阜大学医学部附属病院外科](#)

▼ 教室日記

[トップページ](#) > [教室日記](#) > 2018年 辛夷巻頭言34巻を更新しました

2018年 辛夷巻頭言34巻を更新しました

投稿日：2019年1月24日（木）

2018年 辛夷巻頭言34巻を更新しました。

吉田教授のご挨拶と、同門会での講演「この1年できたこと、できなかったこと」、「教授就任10周年記念講演」、「岐阜大学医学部附属病院院長立候補所信演説」を更新いたしました。
下記より、是非ご覧ください。

- [ご挨拶](#)
- [この1年できたこと、できなかったこと](#)
- [教授就任10周年記念講演](#)
- [岐阜大学医学部附属病院院長立候補所信演説](#)

▲ページの先頭へ戻る



ご案内

- ▶ トップページ
- ▶ 教授挨拶
- ▶ 教室紹介
- ▶ 診療内容
- ▶ 外来担当表
- ▶ セカンドオピニオン
- ▶ 研究課題
- ▶ 臨床試験
- ▶ 業績
- ▶ 研修・入局案内
- ▶ 関連病院紹介
- ▶ スタッフ紹介
- ▶ **教室日記**
- ▶ 2022年
- ▶ 2021年
- ▶ 2020年
- ▶ 2019年
- ▶ 2018年
- ▶ 2017年
- ▶ 2016年
- ▶ 2015年
- ▶ 2014年
- ▶ 2013年
- ▶ 2012年
- ▶ 2011年
- ▶ 2010年
- ▶ 2009年
- ▶ 2008年
- ▶ 2007年
- ▶ オプトアウト対象の臨床研究
- ▶ 寄付講座
- ▶ 同門会



- ▶ 岐阜大学医学部
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- ▶ 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > Takeda Colorectal Cancer Seminar in Gifuが開催されました

Takeda Colorectal Cancer Seminar in Gifuが開催されました

投稿日：2019年1月17日 (木)



2019年1月17日に東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科教授 長谷川 潔先生をお招きし、Takeda Colorectal Cancer Seminar in Gifuを開催しました。

【基調講演】

演者：岐阜大学大学院 医学系研究科 がん先端医療開発学講座 准教授 松橋 延壽先生

座長：大垣市民病院 外科部長 前田 敦行先生

テーマ：『新たな大腸癌治療ガイドラインを考慮した治療戦略』

基調講演では、大垣市民病院 外科部長 前田 敦行先生が司会をされ、当科の岐阜大学大学院 医学系研究科 がん先端医療開発学講座 准教授 松橋 延壽先生に講演いただきました。



座長：大垣市民病院外科部長 前田敦行先生



演者：岐阜大学大学院がん先端医療開発学講座 准教授 松橋延壽先生

松橋 延壽先生は、『新たな大腸癌治療ガイドラインを考慮した治療戦略』をテーマに、直腸癌CRTの歴史、今年新たに発表される大腸癌治療ガイドラインを考慮した1st lineにおける抗EGFR抗体の使い方、FOLFOXIRIの使い所について、当科での使用状況・治療成績、症例提示を含めて話されました。

【特別講演】

座長：岐阜大学医学部附属病院 病院長 吉田 和弘先生

演者：東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科教授 長谷川 潔先生

テーマ：『大腸癌肝転移に対する外科治療の変遷と今後の展望』

特別講演では、岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘教授が司会をされ、東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科教授 長谷川 潔先生に御講演いただきました。



岐阜大学医学部附属病院長・腫瘍外科 吉田和弘教授



東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科教授 長谷川 潔先生

長谷川 潔先生には、『大腸癌肝転移に対する外科治療の変遷と今後の展望』のテーマで御講演いただきました。

まず大腸癌肝転移に対する化学療法では、補助療法とConversion手術を狙った治療についてご説明いただき、その中で55個の多発肝転移に対する積極的な肝切除症例をお示しいただき、詳細な術前・手術シエーマに大変感銘を受け、改めて術前評価を綿密に行うことの大切さを痛感しました。

続いて、NEXTO試験(切除不能または困難な肝転移を有するKRAS野生型大腸癌を対象としたmFOLFOX6+セツキシマブ導入化学療法後における肝転移R0切除率・安全性の検討)の治療成績をお示しいただきました。Conversion手術での問題点として、グリソン浸潤をどう見極めるか、化学療法で主要脈管浸潤は解除されるか、画像上消失した病変(DLM : Disappearing Liver Metastasis)の治療方針・成績について、症例提示を含めて、詳細にご説明いただきました。また残肝機能を考慮した肝部分切除術を基本とする、東京大学肝胆膵外科の大腸癌肝転移に対する肝切除指針をお示しいただき、高度肝静脈浸潤症例に対する肝静脈再建もご提示いただきました。最後は、同時性肝転移や肝転移個数によつての治療戦略、oxaliplatin, irinotecanの上乗せ効果についても、今後の検討課題・展望として、お教えいただきました。



謝辞

長谷川 潔先生には平日の夜間にもかかわらず、ご多忙の中、岐阜で御講演していただき誠にありがとうございました。大腸癌、特に肝転移治療について学ぶ、またとない機会となりました。医局一同、心より感謝申し上げます。

文責：田中秀治、松橋延壽



ご案内

- トップページ
- 教授挨拶
- 教室紹介
- 診療内容
- 外来担当表
- セカンドオピニオン
- 研究課題
- 臨床試験
- 業績
- 研修・入局案内
- 関連病院紹介
- スタッフ紹介
- 教室日記**
- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年
- 2010年
- 2009年
- 2008年
- 2007年
- オプトアウト対象の臨床研究
- 寄付講座
- 同門会



- 岐阜大学医学部
- 岐阜大学医学部附属病院
- 岐阜大学医学部附属病院がんセンター
- 岐阜大学医学部附属病院外科

教室日記

トップページ > 教室日記 > 岐阜腫瘍外科ミーティングCRCC-GIFUが開催されました

岐阜腫瘍外科ミーティングCRCC-GIFUが開催されました

投稿日：2019年1月11日（金）

岐阜腫瘍外科ミーティング CRCC-GIFU

開催日時 2019年 1月11日（金）19:00～21:00
開催場所 岐阜駅前ホテル2F『ボールルーム』
〒502-0817 岐阜市長良稲光2095-2 TEL:058-295-3100

総合司会 吉田 和弘 先生 岐阜大学大学院 腫瘍制御学講座 腫瘍外科分科 教授

一般講演 19:00～19:20
演者：田中 千弘 先生 岐阜県総合医療センター 大腸外科部長
テーマ：『 当院におけるザルトラップの使用経験 』

特別講演 19:20～20:20
演者：馬場 秀夫 先生 熊本大学大学院 生命科学部 消化器外科 教授
テーマ：『 グローバル時代の大腸癌治療 』

ディスカッション 20:20～21:00
「大腸癌治療戦略～最善の治療を考える～」
司会：岐阜大学大学院 腫瘍制御学講座 腫瘍外科分科 講師 高橋 孝夫 先生
コメンテーター：熊本大学大学院 生命科学部 消化器外科 教授 馬場 秀夫 先生
パネリスト：岐阜大学大学院 がん先端医療学講座 准教授 松岡 延壽 先生
「各県腫瘍代表の先生一名」

共催：サファイヤ株式会社 株式会社ザルトラップ
※終了後、情報交換会が予定されています

平成31年1月11日に熊本大学消化器外科学 馬場秀夫教授をお招きし、岐阜腫瘍外科ミーティングCRCC-GIFUが開催されました。

岐阜大学医学部附属病院院長・腫瘍外科 吉田和弘教授が総合司会をされ、一般講演・特別講演・ディスカッションの3部構成で進行をしていただきました。



総合司会 岐阜大学腫瘍外科 吉田和弘 教授

まず最初に一般講演として岐阜県総合医療センター大腸外科部長 田中千弘先生より「当院におけるザルトラップの使用経験」についてお話をさせていただきました。投与症例における患者背景・抗腫瘍効果・有害事象のまとめから、実臨床での症例報告もしていただきました。またザルトラップ投与検討すべき症例に対する考察についてもお話をいただきました。



岐阜県総合医療センター 田中千弘先生

今回は特別講演として熊本大学消化器外科学教授 馬場秀夫先生に「グローバル時代の大腸癌治療」というテーマでご発表していただきました。

近年の大腸癌の疫学からはじまり、切除不能進行大腸癌において現在議論がなされている2nd line治療について、特に血管新生阻害薬の使い分けについてお話をいただきました。さらに熊本大学での多くの症例経験から得られた新しい知見に至るまでお話をいただき、非常に内容の濃いご講演でありました。



熊本大学大学院 腫瘍外科学 馬場秀夫教授

最後に高橋孝夫先生ご司会で「大腸癌治療戦略～最善の治療を考える～」と題して、2例症例提示に対するディスカッションを腫瘍外科関連施設の代表14名の先生方で行っていただきました。馬場先生にはコメンテーターになっていたいただき、2nd lineにおける化学療法についてのディスカッションは非常に白熱したものとなりました。



司会：岐阜大学 腫瘍外科 講師 高橋孝夫先生



コメンテーター：熊本大学大学院 腫瘍外科学 馬場秀夫教授



謝辞

馬場 秀夫先生には、平日の夜にも関わらず、御多忙のなか岐阜の地で御講演していただき誠にありがとうございました。医局一同、心より感謝申し上げます。

文責：深田真宏、松岡延壽